

## 第 3 回小牧市放課後子ども総合プラン導入検討委員会 報告

## 1. 日時

令和元年 11 月 12 日（火）午前 10 時から

## 2. 議題

(1) 名古屋市立名北小学校トワイライトルームの視察結果について

(2) モデル事業の実施内容について

- ① 放課後子ども教室の従事者は、登録者全員が教室実施日に参加できるのではなく、仕事を休んで参加したり、登録者の間でシフトを組んで参加したりしている。毎回必要者数を集めることに苦慮している。
- ② 従事者や地域ボランティアは、各個に確保するのではなく、市が一括して確保して必要に応じて派遣する方法もあるのではないかと。趣旨を上手く PR すれば、人材も集まるのではないかと。
- ③ 体験活動の時間帯において児童クラブの児童と放課後子ども教室の児童の相互移動を行う場合でも、帰るときは一度元の場所に戻ってから帰る方が管理上望ましいと思う。
- ④ 令和 2 年度からは、英語の授業に関連して学校の時間割や下校時間の変更が予定されているため、放課後子ども教室や放課後子ども総合プランの活動時間を考えるうえで考慮する必要がある。
- ⑤ 小学生だけの帰宅の是非については、安全面や学校とのバランスも踏まえて十分に検討する必要がある。
- ⑥ 講師やボランティアの確保のための関係団体等との繋ぎ役、及び現場からの相談に対して一緒になって対応するアドバイザー的な人材を市側に置くことが望ましいのではないかと。

## 3. 今後の検討について

(1) 放課後子ども教室について

令和 2 年度からの学校の下校時間等の変更状況によっては、放課後子ども教室の活動時間及び内容を見直す必要が生じる場合がある。また、その見直しの内容を踏まえて、今後の放課後子ども総合プラン導入検討委員会の検討を進める必要がある。

(2) 放課後子ども総合プランのモデル地区について

当該学校における児童クラブ及び放課後子ども教室の規模やそれぞれの活動場所の配置、余裕教室の状況、地域バランスを考慮して選定した複数のモデル事業候補校に対して、令和 3 年度から 2 校でモデル事業が行えるように事務局で調整を進める。